

No.25

マルチスケール可視化計測によるセラミックスイノベーション

副題を入力してください。副題が不要な場合、空白スペースをいれてください。

【オーガナイザー】 田中 諭（長岡技術科学大学），中山 忠親（長岡技術科学大学）
多々見純一（横浜国立大学），末松久幸（長岡技術科学大学），岡元智一郎（長岡技術科学大学），
高橋拓実（神奈川県立産業技術総合研究所），樽田誠一（信州大学）

【セッション概要】 セラミックス材料・デバイスの実際の反応、プロセス、および使用下での状況は、複雑でかつ刻々と変化し続けます。これらをミクロからナノのマルチスケールで可視化したり、直接観察・計測したりすることは、粉体合成反応や成形・焼結等の製造プロセスの正確な理解、対象となる材料の結晶、微構造と機能との関係を見出すことに非常に有用です。このセッションでは、三次元観察、オペランド観察等を始めとする最先端の可視化及び計測に焦点をあてて、セラミックスのプロセスおよび材料設計の指針につながる議論を行います。これらは学界と産業界の両方において非常に重要であると考えておりますので、活発な参加をお願いします。

【セッションキーワード・トピックス】

可視化、成形、焼結、計測、構造解析

【招待・依頼講演者】 大熊学（東京工業大学）

【発表形式】 口頭、ポスター発表

【共催・協賛等(予定)】

[協賛] 日本化学会，日本応用物理学会，電気化学会，
粉体粉末冶金協会，粉体工学会，
バルクセラミックスの信頼性に関する基盤技術研究会

【連絡先】 stanaka@vos.nagaokaut.ac.jp (田中 諭)